

平成30年度 事業計画書

特別養護老人ホーム 大慈弥勒園

1. 《平成30年度法人ビジョン》

- ①経営の強化
- ②教育システムの充実とサービスの質の向上
- ③地域社会に必要とされる法人

2. 《大慈弥勒園基本方針》

老人福祉法・介護保険法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」及び法人訓を基本方針として、高齢者の人権を尊重し、自立を目指して、高齢者の精神的・肉体的な援助を行なう。又、ゲストの皆様との人間関係を深め、笑顔を忘れず“生活の場”として、ゲストやご家族に満足していただけるサービスを提供する。特養においては、認知症専門棟及び一般棟の特色を活かしたケアができる様に努める。

3. 《中長期計画》

●最終目標 『心地よい大慈』

●中長期目標

- ①プライベート空間の創設で心地よい住まいの提供
- ②基本介護の向上で自立支援を図り、心地よい生活を支援するケア
- ③次世代を担う優秀な職員の育成

●平成30年度目標

『all for one』・・・組織力の強化

- ①部署間の円滑な情報の共有
- ②プライベート空間を意識した計画的な改修工事の実行
- ③介護職員の腰痛者を50%以下に減少（2017年58%）
- ④自立支援＋口腔ケアを推進する
- ⑤介護技術標準書毎月3枚以上作成
- ⑥充足率98%維持を目指し、経営基盤の安定を図る。

●課題及び実践内容

最終目標と中長期計画に沿った単年度計画を念頭に重点目標は同じとし、具体策を変更し、目標達成を実現したい。29年度は役職者の退職に伴い、引き継ぎや組織の再構築に追われた反省から、部署間の連携を重視してコミュニケーション力を高めていきたいと考える。

また、大規模修繕等の施設整備が必要であることから、計画的に実施していきたい。

4. 《ケア部門》

<目標>

●部門別目標

◎プラム棟：『働きがいがある現場作り』

- ①ケアの質・専門性の向上
 - A) 美味しく・楽しく摂取して頂ける雰囲気作り
 - B) 職員の主体性向上
- ②業務内でおきている、無理・無駄・ムラの解消

- A) 業務改善
- B) 介護技術向上(事故件数が平成27年度より30%減)

◎一般棟：『職員の観察力・介護技術向上により、ゲストが安心して穏やかな生活が送れる』

①ケアプランの実施率アップ

- A) 毎月、園庭散歩・外出行事の実施（グループ・個人）
- B) 一人一人に役割を持ってもらい、記録に残せず（生活リハ・エプロン畳み・コップ洗い等）
- C) ケアプランに基づいたケアを展開し、記録（まとめ・総括・コミュニケーション）に残す。実施率を出し管理する
- D) 会議の場でケース検討会議が行われ、課題解決・情報共有を行う

②水分摂取量1,300ml摂取を目標とし、一部介助者の自力摂取を継続

- A) 水分摂取量平均1,300ml（看取り・経管栄養者除く）
- B) PDCAサイクルに基づき、個々に合った飲み物が提供され負担無く水分補給が出来る
- C) 食事摂取量の増加と昼食後の口腔ケア実施率アップ（現時点で14名の実施）
- D) ゲストの嗜好調査・毎月食事行事の実施

③正規職員のスキルアップ（観察力・介護技術の向）

- A) 毎月1回、部下との面談
- B) 会議会議・部門会議・OFF-JTの出席率向上
- C) 業務中での介護技術の指導・教育
- D) 状態観察で必要なポイントを伝え教育する事で、迅速な対応と連携が出来る

5. <<経営部門>>

<目標>

- ①充足率98%維持を目指し、経営基盤の安定を図る。
 - A) 各部署と共同し、ゲストの疾病予防策を検討して健康維持を図る
 - B) 入所待機者との関わりを増やし状況を把握する。上位3名の面接を常に行い、スムーズな入所を目指す。緊急入所についても率先して行動する
 - C) 総務部と共に経営分析を長期・中期的に行い健全な経営を維持する
 - D) 待機者管理促進の為、随時会議を実施する
- ②新たな加算を取得することで、収入アップを目指す
 - A) 個別機能訓練加算と認知症専門ケア加算の取得を目指す
- ③紙おむつ代の削減の継続を図る
 - A) 27年度実績を上回らないよう、チェック体制を継続
- ④人財確保及び新規顧客獲得のため、広報活動の推進を図る
 - A) リニューアルしたホームページを活用し、「大慈園らしさ」をアピールする
 - B) SNS等を活用し、リアルタイムな情報を発信し続ける
 - C) 学校訪問し、人財確保を図る
- ⑤介護福祉士資格取得支援制度の拡充を行う
 - A) 実務者研修費用全額支給

6. <<相談援助部門>>

<目標>

- ①ゲスト情報を一元化し、ケアプランを中心としたケアマネジメントの構築を図る
 - A) ミニカンファレンス数の増加

②モニタリングの精度を上げる

A) 実施状況の見える化（ケア状況の写真・動画撮影と検証等）

7. <<看護部>>

<目標>

『安心・安全・安楽と思えるような心地よい看護を展開する』

①ゲストの健康問題を把握し個々のニーズに応じた看護を提供する

②心地よく業務遂行出来る様な関係づくり

<年間業務>

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線、採血
6月	全職員定期検診	胸部X線、採血、検尿、検便、心電図、 腰椎X線（介護職員のみ）等
10月	全職員	インフルエンザ予防接種
11月	ゲスト	インフルエンザ予防接種
	介護職員定期検診	採血
随時	雇入時健診	胸部X線、採血

<週間診療表>

曜日	午前 午後	診療科目	頻度
月	午前・午後	内科	毎週
火	午前・午後	内科	毎週
	午後	精神科	毎週
水	午前	整形外科	毎週
	午後	皮膚科	月2回
		歯科	毎週往診
木	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
金	午前	内科	毎週
	午後	内科	毎週
		糖尿内科	毎週
土	午前	内科	毎週
	午後	精神科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

8. <<理学療法科>>

<年間計画内容>

ADL低下を防ぐ事を目的に、個別機能訓練を取り入れ、実施する事で現状の機能維持・向上を図る。軽微な生活リハビリを提案・指示（指導）する事で、ゲスト本人が支障をきたさず日常生活が送れる手助けを遂行する。

<実践目標>

①日常生活レベルの変化に順じた対応が出来る

A) 変化に対しての現場対応への指示・指導…随時

B) ご家族への現状機能・対応の説明・報告…カンファレンス時等

②個別に対応した運動提供が出来る

- A) 個別機能訓練計画作成・実施（実施体制が整う）…定期的
- B) 生活内リハビリの提案・提供（現場職員への指示・指導）…随時

9. 《事務部》

<目標>

- ①協働作業を通じ、ノウハウの共有を推進（5S活動推進）
 - A) 整理整頓・清掃を心掛け、事務所内外の環境整備に努める
 - B) 活動を通して業務を効率化し、ストレスなく働ける環境作りに努める
 - C) 年間カレンダーを活用し期日とタスクの管理を行い、スムーズな調整連携を図る

<主要業務>

事業名	内容	備考
事務局運営事業	電話の対応、窓口対応、来客者対応 賞与振込	全施設（随時） 全施設（4月、7月、12月5日まで）
	給与振込 所得税・住民税納付 介護報酬請求・診療報酬請求・措置費請求 利用者請求 業者支払い 処方箋の発行	全施設（毎月15日まで） 全施設（毎月10日まで） 全施設（毎月15日まで） 月末締め、翌月20日払い 診療所（随時）
	利用者預かり金の出納管理 立替金の管理 年末調整 監査資料の準備 各種アンケートへの記入 その他庶務（在庫管理、入退所手続き等）	全施設（随時） 全施設 全施設（12月） 全施設（6月） 随時

10. 《栄養科》

<目標>

- ①調理の味と質の安定をはかる（3カ年）
 - A) どの厨房スタッフにも分かる献立マニュアルを作成する
- ②大慈園全体の食事ケアの向上をはかる
 - A) 大慈園の食事を、園全体で考える
 - B) 食事サポートの統一をはかる

<月間行事食予定>

行事食	頻度
家族食事会、おやつ作り	毎月1回
行事食（赤飯）	毎月1日
選択食（朝食）	毎日
誕生会	誕生日、第3月曜
間食飲み物選択	毎日
おやつ	月3～4回

<年間行事食予定>

月	年間行事	月	年間行事
4月	餅つき	11月	焼き芋
	お花見パーティー		刺身提供の日
	手巻き寿司パーティー		串揚げバイキング
5月	焼肉バイキング	12月	天ぷらバイキング
	土鍋ご飯		クリスマス会
	母の日		年越しそば
6月	父の日	1月	正月料理
	焼き鶏バイキング		七草粥
	揚げ物バイキング		お寿司バイキング
7月	七夕	2月	おでんバイキング
	いい肉の日		節分
	おにぎり・素麺バイキング		お好み焼き・やきそばバイキング
8月	地蔵盆	3月	鍋・ぞうすいバイキング
	夏祭り		ひな祭り
	お好み焼き・焼きそばバイキング		刺身提供の日
9月	敬老の日		おでんバイキング
	パンバイキング		鍋・ぞうすいバイキング
	スイーツバイキング		
10月	土鍋・さんまバイキング		
	天ぷらバイキング		

1.1. <環境整備計画>

建物や設備の老朽化に伴い、施設環境整備を行う。

- ①浴室壁紙貼り換え工事
- ②居室内環境の改修工事
- ③その他（設備関連工事等）

1.2. <地域貢献事業計画>

- ①社会貢献委員会が主催する行事
- ②地蔵盆の開催
- ③社会福祉法人等による利用者負担軽減制度

1.3. <大慈弥勒園の特徴>

①入浴

- A) 特浴（週2回） → 座位式の機械浴にて、寝たきりの方でも安心して入浴できる
- B) 中間浴（週2回） → 家庭用の浴槽を使用し、職員がマンツーマンで対応する事で、認知症の方や障がいをお持ちの方でも安心して入浴できる
- C) 一般浴（週2回） → 主に自立歩行者を対象とし、循環式の大浴場にて、安心して入浴できる

☆ゲスト個々の状態に合わせた入浴形態を考案・実施する

②排泄

- A) トイレ誘導 → オムツ外しを積極的に行い、ゲスト個々の尿間隔に合わせた援助を行う
- B) オムツ交換 → 定時4回交換実施。排泄アセスメントから個々の尿量に合わせてオムツ

の種類を決定し、個別援助を行う

☆ゲスト個々の状態に合わせて随時サービスを考案・実施する。

③食事

- A) ホールで食べて頂く事を基本とし、ゲスト個々の状態に応じて、ソフト食・スルー食等を提供する
- B) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する
- C) 疾病に応じた療養食を提供する

④生きがい作り

- A) お誕生会を従来型（月毎に全員実施）から、生まれたその日にお祝いする
- B) ご家族との交流の場を提供する（家族食事会等）
- C) 四季を感じる行事食と選択メニューを実施する
- D) 地域との交流を促進する
- E) おやつ作りを実施する
- F) 音楽療法・園芸療法・くもん式学習療法・化粧療法を実施する

⑤機能回復訓練

- A) 機能回復訓練士が、随時リハビリを行う
- B) 機能回復訓練士の指導のもと、生活リハビリを行う
- C) 生活リハビリを積極的に行いADLの維持・向上を目指す
- D) 食事は、ホールにて食べて頂く事を基本とし、離床を促す

1 4. 《衛生管理》

害虫駆除（年2回）、口腔ケア（毎食後）、寝具交換（週1回）

1 5. 《委員会活動等》

	内容
委員会名	大慈園サービス向上委員会
頻度・時間	毎月第3水曜日 15時～16時
目的・内容	大慈園のサービスに関する、苦情処理・食事・入浴・排泄・看取り等の検討及びアンケート調査・研修を通じて職員の資質向上を図る。
目標等	①部署内共有部分の整理・整頓・清潔を保つ ②不適切になり得る言葉遣いや対応の仕方について、改善していく ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園事故再発防止対策委員会、身体拘束廃止委員会
頻度・時間	毎月第2水曜日 14時～16時
目的・内容	事故発生防止のための指針に基づき、マニュアル作成・事故報告書の検討・職員研修等を検討・実施する。又、部署内で事故検討委員会を設置し、事故の再発防止を図る。
目標等	①付き添い・見守り時の事故発生率0% ②ADLレベル変化の早期発見・早期見直しと職員間の連携強化 ③介護技術の向上と対応方法の統一（メソッド） ☆研修会→7月・2月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園感染症防止対策委員会
頻度・時間	毎月第3水曜日 14時～15時
目的・内容	感染症・食中毒の予防・まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。
目標等	①園内での感染症発症率0% ②感染症についての職員意識向上 ③感染委員を中心に部署内の対策を強化し共有 ☆研修会→7月・2月の年2回予定

	内容	
委員会名	大慈園非常災害時対策委員会	
頻度・時間	毎月第1水曜日 14時～16時	
目的・内容	非常災害時（地震、火災等）に対する防災意識向上や警戒発令時の敏速な対応等、総合的な推進を図り、被害の軽減を図る。	
目標等	①毎月1回訓練を実施。総合避難訓練は年2回実施し、内1回は夜間想定で実施する。	
	②作成したBCPを基に、図上訓練を実施し、自部署、他部署の動きを理解した上で、計画書の更新を継続する。	
	③福祉避難所の運営マニュアルに沿って、福祉避難者の見守り・生活支援を円滑に行い、日常業務との連携を図る。	
	④あらゆる緊急事態を想定し、早期に危険を発見し、すばやく対応できる危機管理体制の確立を図る。	
	☆研修会→4月・8月予定	
	4月	電話訓練、通報訓練(放送設備説明→宿直者対象)、図上訓練
	5月	消火訓練(初期消火・消火器、消火栓取扱い)
	6月	災害研修(新人)、メール訓練
	7月	救助訓練
	8月	図上訓練、電話訓練
	9月	通報訓練(放送設備説明→宿直者対象)
	10月	総合避難訓練(夜間想定)、メール訓練、防災訓練(防災祭り)
	11月	消火訓練(初期消火・消火器、消火栓取扱い)、不審者対策訓練
12月	電話訓練	
1月	通報訓練(放送設備説明→事務員対象)、救助訓練(地域)、神戸市シェイクアウト訓練	
2月	メール訓練	
3月	総合避難訓練(昼間想定)	

	内容
委員会名	大慈園給食委員会
頻度・時間	毎月第1水曜日 16時～17時
目的・内容	栄養科が中心となり、各部署の食事係が食事形態等について協議する。

目標等	①毎日笑顔になれる食事の提供。 ②調理の味と質の安定 ☆研修会→5月・11月の年2回予定
-----	--

	内容
委員会名	大慈園マナーアップ委員会
頻度・時間	2ヶ月月毎 第4木曜日 15時～16時
目的・内容	一般常識、慣例である言葉使い等をマニュアルを基に向上させる。
目標等	①D-1グランプリの開催 ②服装や挨拶・ゴミ分別等が出来る様になる ☆研修会→5月・11月の年2回予定

	内容
委員会名	大慈園看取委員会
頻度・時間	毎月第4月曜日 14時～16時
目的・内容	看取り介護においての、カンファレンスや知識向上を行い、理念である「当たり前のあるがままの生活、我が家のような生活」ができる様環境作りを行う。
目標等	①担当を中心に質の高い介護を目指す ②ご家族の看取りへの認知度を向上 ☆研修会→6月・11月・3月の年3回予定 ☆家族勉強会年1回、地域向け発表会年1回開催

	内容
委員会名	大慈園褥瘡防止委員会
頻度・時間	毎月第4月曜日 14時～16時
目的・内容	褥瘡や表皮剥離等の原因分析及び対策を検討し、職員の資質向上を図る
目標等	①褥瘡発生率0パーセントを目指す。 ☆研修会→6月・11月・3月の年3回予定

	内容
委員会名	医療的ケア委員会
頻度・時間	毎月第1金曜日 15時～16時
目的・内容	胃ろう・吸引が必要な方への支援方法や、職員がスキルアップできる研修会の立案等を検討する
目標等	①医療的ケアを含む医療面における知識・技術の向上を図り、安全なサービスを提供することができる ☆研修会→10月・1月予定

	内容
委員会名	学習療法推進委員会
頻度・時間	毎月第3木曜日 14時～16時
目的・内容	くもん式学習療法を活用し、認知症の悪化防止を図る
目標等	①3回/週以上実施

	②研修会の実施 ☆研修会→5月予定
--	----------------------

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 事業戦略推進委員会
頻度・時間	毎月1回 13時～15時
目的・内容	法人全体で行う事業戦略を検討する。部門別に各委員会を設置し、取り組み内容を決定する。人事、予算、社会貢献、研修、広報、労働衛生
目標等	①遠藤メソッド対策 介護技術標準書毎月3枚以上作成 ②こども参観日を年2回開催 ③法人で実施する事業等を実行 ④新卒採用計画の実行 ⑤事業計画・報告書の様式検討 ⑥その他 法人間で関係する事業等 ☆行事等→高卒10人集め隊、こども参観日、忘年会、職員クラブ活動支援

研修会名	対象者・内容等	頻度等
①新人研修	新卒採用者及び中途採用者を対象	4月
②中途採用者研修	①を受講できなかった中途採用者対象	10月
③ステップアップ研修	次等級へ昇格するための研修	1月頃
④評価者研修	人事評価制度の役職者向け研修	3・9月頃
⑤介護職員初任者研修	新卒採用者及び中途採用者を対象	年4回
⑥高齢者虐待防止研修	全職員（パート含む）を対象とした研修	年1回
⑦労働衛生研修	全職員対象	年1回

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 人事委員会
頻度・時間	毎月第4火曜日 10時～12時
目的・内容	人財育成システムの習熟度をあげる施策や人事検討会議の実施等を行う
目標等	①評価者研修の受講者数の向上を目指し、評価者の知識・スキル向上を図る。 ②昇級者向けのステップアップ研修の実施 ☆研修→評価者研修、ステップアップ研修

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 予算委員会
頻度・時間	年3回 10時～12時
目的・内容	予算執行状況の確認及び予算策定に向けた話し合い等を行う
目標等	①予算計上から執行まで全部署統一・徹底 ②内部管理体制の構築 ③外国人技能実習生受入れ体制の整備

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 社会貢献委員会
頻度・時間	毎月第1金曜日 10時～12時
目的・内容	法人が社会貢献を実行する為の施策の検討及び実施。
目標等	①地域行事に参加し、知名度を上げる ②地域住民向けの研修を実施 ☆行事等→おもと会送迎、生き生きライフセミナー、井吹西サポーター研修、櫛谷納涼のつどい、井吹東学童交流会、櫛谷川祭り、いぶきのきらきら祭り、看取り介護発表会、いぶき東文化祭、いぶき西秋祭り

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 研修委員会
頻度・時間	毎月第1金曜日 10時～12時
目的・内容	研修システムの構築や各種研修会の立案・実施
目標等	①初任者研修、新人研修の開催・運営 ②交換研修の開催・運営 ③中途採用入社式、入社式の開催と運営 ☆行事等→新人研修、介護職員初任者研修、座談会、交換研修、入社式、新人王決定戦、新人職員懇親会開催

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 広報委員会
頻度・時間	毎月第4火曜日 14時～16時
目的・内容	パンフレット作成やホームページの更新作業及びイベントの開催等を行う
目標等	①職員採用及びお客様の集客力向上 ②介護のイメージアップ作戦を推進 ③各種行事の開催と準備・運営 ☆行事等→法人・大慈デイサービスセンター・新卒職員パンフレット発刊、機関紙発刊、全国老人福祉施設協議会・ハッピーパックフォトコンテスト参加、桜フェスティバル・地藏盆・秋祭り開催、公式キャラ検討、大慈園設立記念日

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 モチベーションアップ委員会
頻度・時間	毎月1回開催 14時～16時
目的・内容	全ての介護職員全員がやる気アップに繋がるものを考え実行する
目標等	①全ての介護職員全員がやる気アップに繋がるものを考え実行 ②職場内に埋もれているハラスメントをなくし、快適な職場環境を作る ☆行事等→職員OF職員開催、ハラスメント研修

	内容
委員会名	大慈厚生事業会 労働衛生推進委員会
頻度・時間	毎月第3金曜日 15時～17時

目的・内容	職員の労働環境の向上及び悪化防止
目標等	①介護職員の腰痛軽減対策 ②脂質異常症を減らす ☆行事等→12月職員研修、健診結果評価、腰痛調査結果評価、現場巡回

16. 《職員会議等》

頻度	会議名			
月1回	法人運営会議	主任会議	369会議	会計会議
	部門会議	事務部会	仏間会議	全体会議
随時	ケアカンファレンス、医務部会			

17. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け、口頭・書面で上司へ報告し敏速で確実な対応を行う。

18. 《月行事・行事食予定》

月行事	頻度
家族食事会、理髪、チェリッシュパン販売、バイキング、外出の日買い物外出、コーヒー喫茶、	毎月1回
ミュージックセラピー	毎月4回
パン販売	毎週1回
ビデオ上映会、カラオケクラブ、嚥下体操、ラジオ体操、ボール運動、園庭散歩、くもん式学習療法、園芸療法	随時

19. 《年間行事・行事食予定》

月	年間行事	月	年間行事
4月	お花見	9月	敬老の日
	設立記念日		遠足
5月	遠足(回転寿司)	12月	忘年会
	母の日		クリスマス
6月	父の日	1月	餅つき
	買物ツアー		元旦(正月料理)
7月	そーめん大会	2月	初詣
	夏祭り		節分、ショコラティエ
8月	地藏盆	3月	ひな祭り
	屋台村		遠足

20. 《職員配置》ショート含む定員115名

施設長	副施設長	生活相談員	機能回復訓練士	介護支援専門員
1名	1名	2名	1名	2名
看護職員	管理栄養士	介護職員(正職)	介護職員(パート)	
7名	2名	32名	27名	